

[Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)
[First Hit](#)

[Generate Collection](#)

L8: Entry 55 of 59

File: JPAB

Jan 14, 1994

PUB-NO: JP406006495A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06006495 A
TITLE: PICTURE FILING METHOD

PUBN-DATE: January 14, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

ARISAKA, KATSUMI

NISHIDA, HIDEYUKI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

CANON INC

APPL-NO: JP04162948

APPL-DATE: June 22, 1992

INT-CL (IPC): H04N 1/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To avoid much time for transfer of picture data and provision of identification data by inputting identification data corresponding to picture data after transfer of plural picture data when picture data are transferred between filing equipments.

CONSTITUTION: A data transfer destination filing device 20 publicates a command to send a list of all files of a data transfer sender filing device 10 to the filing device 20. Then content of sent list data is outputted to its own display section 22. The user observes the file list and selects which file is to be copied. When a file is selected, the filing device 20 gives a command to the filing device 10 so that a picture of the file is outputted to a display section 12. The user observes the display of the display section 12, enters optimum retrieval data to the filing device 20 and transfers the selected file. The transferred data are sequentially recorded on a medium of the filing device 20 sequentially.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

[Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-6495

(43)公開日 平成6年(1994)1月14日

(51)Int.Cl.⁵

H04N 1/00

識別記号

庁内整理番号

C 7046-5C

FI

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2(全7頁)

(21)出願番号 特願平4-162948
(22)出願日 平成4年(1992)6月22日

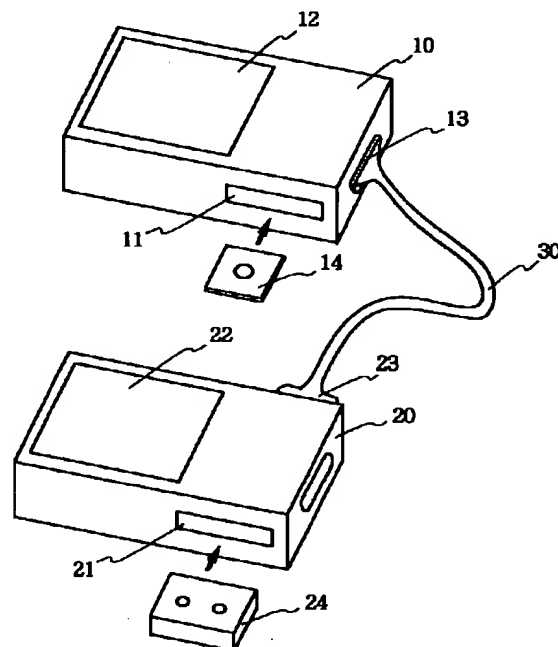
(71)出願人 000001007
キャノン株式会社
東京都大田区下丸子3丁目30番2号
(72)発明者 有坂 克巳
東京都大田区下丸子3丁目30番2号キャ
ン株式会社内
(72)発明者 西田 秀之
東京都大田区下丸子3丁目30番2号キャ
ン株式会社内
(74)代理人 弁理士 丸島 儀一

(54)【発明の名称】 画像ファイリング方法

(57)【要約】

【目的】 ファイリング装置同士で画像データの転送を行なう際、転送された画像データに時間をかけずに検索データを付与する。

【構成】 指定されたファイルナンバーのファイルをファイリング装置10からファイリング装置20へ転送し、転送すべきファイルの転送終了後、転送された複数のファイルのうち1つを表示部12に表示させ、ファイリング装置20から表示部12に表示されているファイルの検索データを入力する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 第1の画像ファイリング装置にファイリングされた複数の画像データを第2の画像ファイリング装置に転送する画像ファイリング方法であって、前記複数の画像データを前記第1の画像ファイリング装置から前記第2の画像ファイリング装置へ転送し、前記複数の画像データの転送後、前記第2の画像ファイリング装置にて前記画像データに対応させて識別データを入力することを特徴とする画像ファイリング方法。

【請求項2】 第1の画像ファイリング装置にファイリングされた複数の画像データを第2の画像ファイリング装置に転送する画像ファイリング方法であって、前記画像データを前記第1の画像ファイリング装置から前記第2の画像ファイリング装置へ転送し、前記第1及び第2の画像ファイリング装置のうちファイリングされた画像データの読み出し速度の早い画像ファイリング装置に画像データの表示を行ない、前記画像ファイリング装置に表示された画像データに対応する識別データを前記第2の画像ファイリング装置にて入力することを特徴とする画像ファイリング方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ファイリング装置にファイリングされた画像データを転送する際の画像ファイリング方法に関する。

【0002】

【従来の技術】2つのファイリング装置間で画像データをコピーする場合、例えば図3に示すように、ディスク媒体14に対して画像データの読み書きを行なう記憶部11、表示部12、通信端13を有するデータ転送元であるファイリング装置10と、同様にテープ媒体24に対して画像データの読み書きを行なう記憶部21、表示部22、通信端23を有するデータ転送先である装置20とが通信ケーブル30によって接続する。ファイリング装置20は、通信ケーブル30を介して、ある決められたプロトコルでファイリング装置10を制御することが可能であり、ファイリング装置20が発行するコマンドにより、データのやり取りが行なえるようになっている。

【0003】この2装置間でデータのコピーを行なう際、図4、5に示すような手順にてコピーが行なわれることが考えられる。

【0004】まず、データ転送先のファイリング装置20がデータ転送元のファイリング装置10に対して、ファイリング装置10での検索データ構造を記述している検索データ構造記述ファイルと呼び出すコマンドを発行する(ステップS31)。そのコマンドを受け取ったファイリング装置10は、通信線30を介して、ファイリング装置20にそのデータを転送する(ステップS51、52)。ファイリング装置20は内部のメモリーに、

データを展開し(ステップS32)、その記述ファイルの情報とファイリング装置20での検索データ構造とを比較する(ステップS23)。このとき、データ構造が一致すれば、データストラクチャフラグを1とし(ステップS34)、不一致ならば0とする(ステップS35)。

【0005】次に、ファイリング装置20は、ファイリング装置10の全ファイルのリストのデータ送信を要求するコマンドを発行する(ステップS36)。このコマンドを受けたファイリング装置10は、持っているファイルのリストを送信し(ステップS53)、ファイリング装置20はリストを表示する。使用者はその表示をみて、どれをコピーするか選択する。

【0006】選択したファイルのナンバーを入力すると(ステップS38)、ファイリング装置20は相応する画像データの送信要求コマンドを発行する(ステップS39)。このコマンドを受けたファイリング装置10は画像データをファイリング装置20に送信する(ステップS54)。ファイリング装置20は、受け取ったデータを表示する(ステップS40)と共にこの画像データをファイリング装置20の記録媒体に記録する(ステップS41)。そして、ファイリング装置20は、この画像データに相応する検索データを再入力するべく、キー入力の受付状態に移行する(ステップS42)。

【0007】使用者は、ファイリング装置20の画面をみて、最適な検索データを再入力する。検索データの入力が終了するとファイリング装置20は入力された検索データを記録する(ステップS43)。

【0008】ステップS43の記録後、ステップS38のリスト表示に戻り、次のファイルナンバーの選択を待つ。そこで、不図示のファイル入力の終了キーを押すと画像データのコピーを終了し別の処理へと移る。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】上述した装置に於ては、検索データの構造がコピーの行なわれる2装置間で異なる場合、各ファイルごとに検索データの再入力が必要とされる。この時、再入力の合間では画像データのコピーが行なわれるが、使用者はそのコピー動作を各ファイルごとに待つ必要がある。例えば、1ファイルの画像データが、縦横各8ベルで読み取った2値画像でA4原稿10枚分であるとする、そのデータ量は、 $(296 \times 8) \times (210 \times 8) \times 10 \div 5 \text{ MB}$ となり、データ転送先がDAT(デジタルオーディオテープ)を記録媒体とした記録装置の場合、転送レートは、 192 kB/sec なので $5 \text{ E}6 / 192 \text{ E}3 \div 26 \text{ (sec)}$ つまり、各ファイルをコピーする間、約26秒間使用者は待たされることになる。

【0010】また、検索データを再入力するためには、使用者は主要な部分の画像データをみて決定する必要がある。

あり、そのためコピー動作の後データ転送先の媒体にもう一度アクセスすることになり、その時間待たされる。相手がDATを記録媒体とした記録装置の場合、26秒の2倍の52秒間も待つことになる。

【0011】特に、画像データの表示と、検索データ入力のエコーバックと、リスト表示とを画面に出力する必要がある。

【0012】さらに、このようなシステムを構築するには、ソフト開発の面からも、このように多くの動作が同時に行なわれることは難点が多い。検索データ構造が異なる画像ファイルのコピーの最中に、検索データの入力シーケンス、画像データの表示、画像の回転等の画面制御、ファイル一覧の画面表示、等の多重のタスクを考えなければならず、そのためソフトの構成が難しくなり、ひいてはシステムの開発時間の増大や不明解なバグの発生と行った問題を引き起こす。

【0013】

【課題を解決するための手段】上記問題点に鑑み、本発明によれば、第1の画像ファイリング装置にファイリングされた複数の画像データを第2の画像ファイリング装置に転送する画像ファイリング方法であって、前記複数の画像データを前記第1の画像ファイリング装置から前記第2の画像ファイリング装置へ転送し、前記複数の画像データの転送後、前記第2の画像ファイリング装置にて前記画像データに対応させて識別データを入力することにより問題を解決するものである。

【0014】又、本発明によれば、第1の画像ファイリング装置にファイリングされた複数の画像データを第2の画像ファイリング装置に転送する画像ファイリング方法であって、前記画像データを前記第1の画像ファイリング装置から前記第2の画像ファイリング装置へ転送し、前記第1及び第2の画像ファイリング装置のうちファイリングされた画像データの読み出し速度の早い画像ファイリング装置に画像データの表示を行ない、前記画像ファイリング装置に表示された画像データに対応する識別データを前記第2の画像ファイリング装置にて入力することによって問題を解決するものである。

【0015】

【実施例】本実施例を図1、2を用いて説明する。まず、データ転送先であるファイリング装置20は、データ転送元であるファイリング装置10に対して、通信線30を介し、ファイリング装置10で保持している検索データ構造を記述している検索データ構造記述ファイルを読み出すコマンドを発行する(ステップS1)。次に、ファイリング装置10は、そのコマンドを受けて、検索データ構造記述ファイルのデータをファイル装置20に送る(ステップS21)。そしてファイル装置20では自分自身の検索データの構造とファイリング装置10から送られてきたデータとを比較する(ステップS2)。このとき、データ構造が一致すれば、データスト

ラクチャフラグを1とし(ステップS4)、不一致ならば0とする(ステップS3)。

【0016】以後、主にステップS2で不一致の場合について説明する。次に、ファイリング装置20は、ファイリング装置10の全ファイルのリストをファイリング装置20に送るようコマンドを発行する(ステップS5)。ファイリング装置10は、そのコマンドによりファイリング装置10はファイリング装置20にリストデータを送る(ステップS22)。そして、ファイリング装置20は、このリストデータの内容を自身の表示部22に出力する。

【0017】使用者はこのファイルリストを見てどのファイルをコピーするか選択する。ファイリング装置20では選択すべきファイルのナンバーを入力できるようキー入力受付状態にする(ステップS7)。あるファイルが選択されたら、ファイリング装置20は、そのファイルの画像をファイリング装置10が装置自身の表示部10に出力するように、コマンドを発行する(ステップS8)。このコマンドを受けて、ファイリング装置10では、表示部10に選択されたファイルの画像データを表示する(ステップS23)。使用者は、ファイリング装置10の表示器の表示をみて、最適な検索データをファイリング装置20にキー入力する(ステップS9)。

【0018】使用者が、選択したファイルの検索データの inputs を終了し、選択を終了すると、ファイリング装置20は、ファイリング装置10に対し、選択されたファイルの各画像データを読み出すコマンドを発行する(ステップS11)。呼び出し要求を受けたファイリング装置10は、選択されたファイルの各画像データをファイリング装置20に送信する(ステップS24)。受け取ったデータはファイリング装置20の記録媒体に順次記録する(ステップS12)。

【0019】尚、先に述べたデータストラクチャフラグが1の場合は、画像データのコピーの後、検索データに関する一連の諸動作はパスするようにする。

【0020】この動作を各ファイルについて行ない、選択された全てのファイルが終了したらこのコピー処理を終了し、別の処理を待つ。

【0021】さて、データストラクチャフラグが1のときは、図示しないが自動的に検索データと画像データとをファイリング装置10から20へ転送する。全ファイルをコピーする場合には、ファイルのリスト表示をも省略して全自動で行なってもよい。

【0022】尚、本発明はファイリング装置以外にマイクロフィルムリーダやデジタルリーダ等にも適用することができる。

【0023】又、ファイリング装置20からファイリング装置10に画像データを転送する際にも同様であり、この際には画像データの読み出し速度の早いファイリング装置10にて画像を表示させて、検索データを入力す

5

るようにすれば良い。

【0024】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、複数の画像データの転送後、画像データに対応させて識別データを入力するので、画像データの転送及び識別データの付与に時間がかからないという効果がある。

【0025】また、本発明によれば、2つの画像ファイリング装置のうち画像データの読み出し速度の早い画像ファイリング装置に画像データの表示を行ない、表示された画像データに対応する識別データを入力するので、
10 画像データの転送及び識別データの付与に時間がかから

6

ないという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例のフローチャートである。

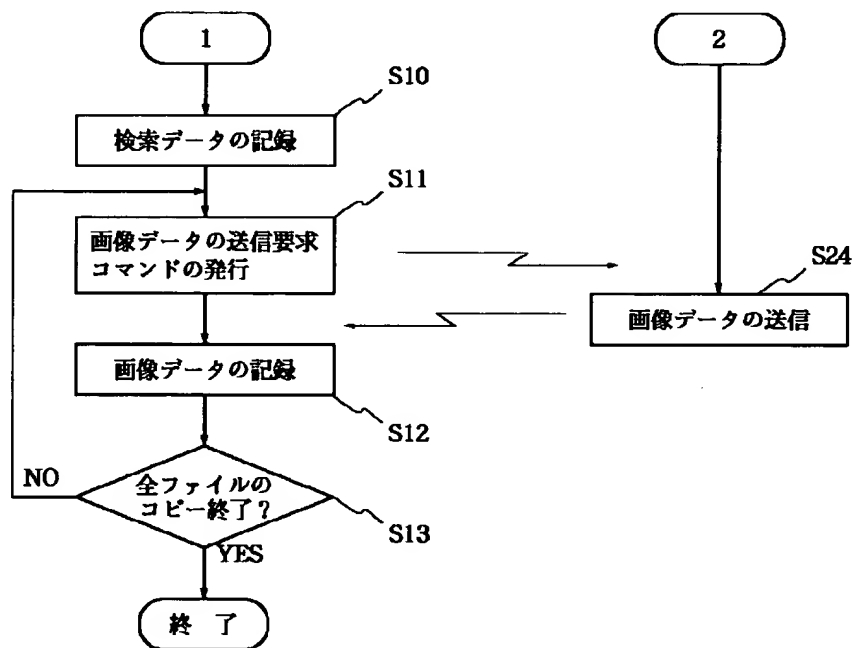
【図2】本発明の実施例のフローチャートである。

【図3】ファイリング装置のハード構成を説明する図である。

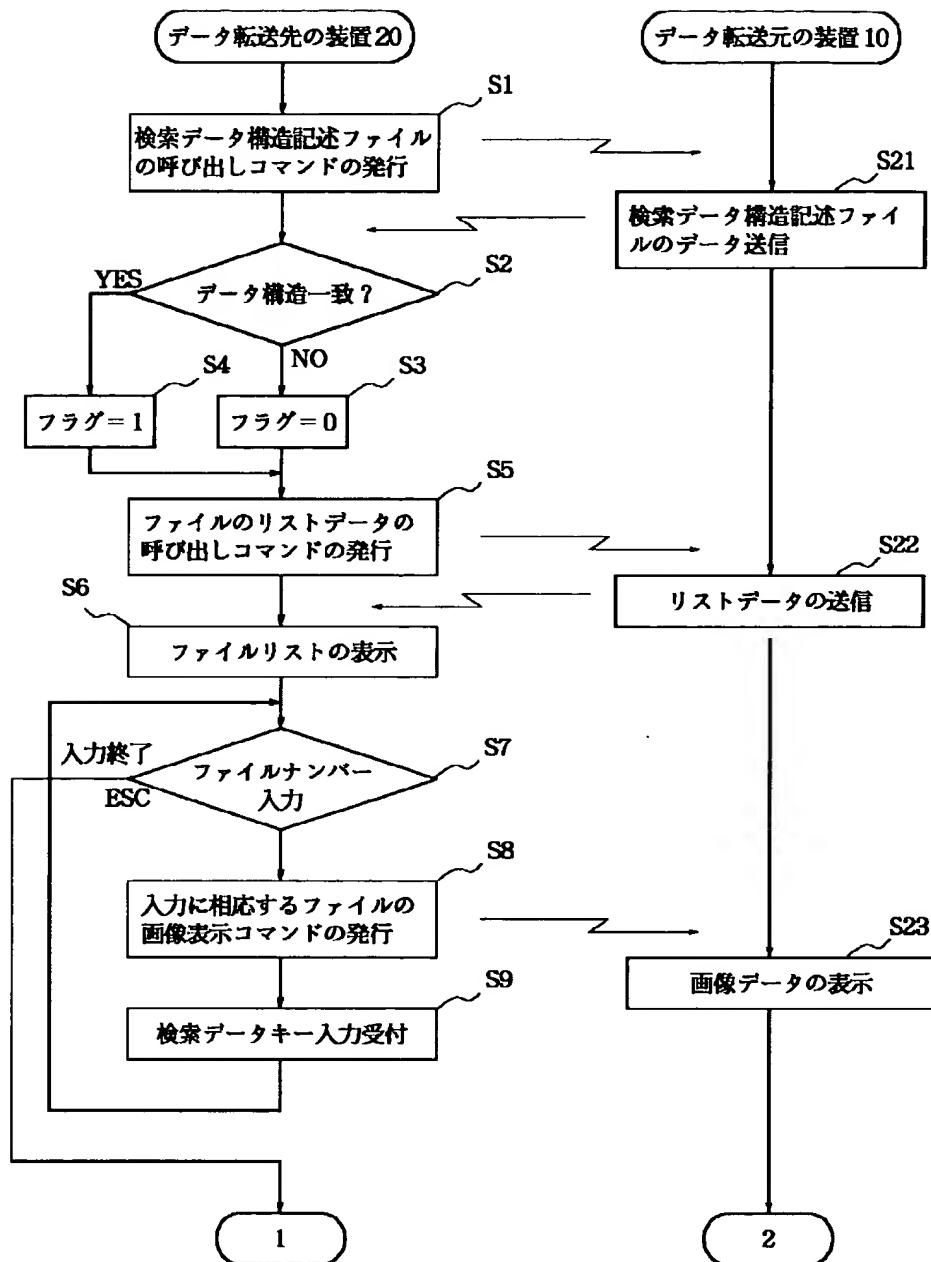
【図4】ファイリング装置間での画像データコピーのフローチャートである。

【図5】ファイリング装置間での画像データコピーのフローチャートである。

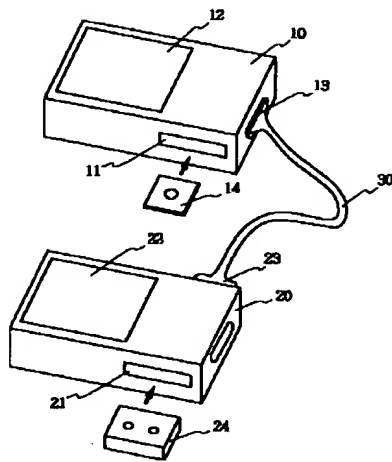
【図2】



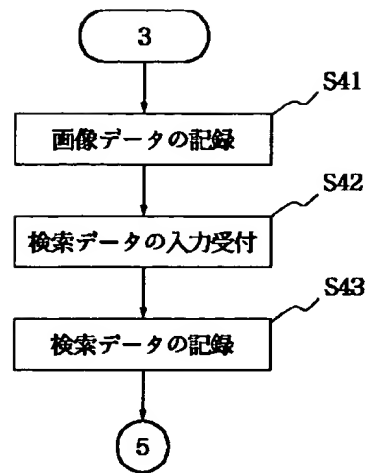
【図1】



【図3】



【図5】



4

【図4】

